

七和地区社会福祉協議会(桑名市)



七和地区の子どもたちの見守り隊！

青パトでつくろう安全・安心の桑名

1 活動地域

私たちは、桑名市立七和小学校の学区を中心に活動しています。

桑名市は、三重県北端に位置する人口約14万人が暮らす都市で、中心部は旧城下町の風情を残す町並みが残り、周囲を木曽三川や多度山など豊かな自然に囲まれた地域です。

私たちが活動する七和小学校区は、桑名市の西部に位置し、旧来の住宅街と新興住宅地が混在していて、商業施設ドン・キホーテ、ロピア、サンシパーク、お宝一番などと、東西に走る国道421と県道142はグルメ通りと言われて、家族で食事ができる大型店がたくさんあり、大変住みやすい土地として、トヨタなどの居住推薦地区になっています。七和小学校の生徒数は、約290人です。活動区域内の高校として、三重県立桑名工業高校、津田学園高校があります。

2 団体の概要

当団体は、平成5年に地元の自治会及び七和地区社会福祉協議会、PTAを中心として発足した防犯ボランティア団体で、主に子どもたちの見守り活動を目的としてパトロール活動を行っています。

令和5年に青色回転灯を装備した車両（以下「青パト」といいます。）でのパトロールを開始し、週に3回、青パト2台で活動を行っています。

3 活動内容

- (1) 防犯パトロールの実施

活動は週に3回、月水金に七和地区社会福祉協議会のメンバーと各種団体、有志と協力して、主に小学生の登下校時の見守り活動をしています。

(2) 青色回転灯装備車両の導入

令和5年に青パトの導入にご賛同いただいた、イーストコーストカスタムズさんからBMWを寄付していただき運用しています。

BMWをドイツのパトカーに見立てたカラーリングにして、まちづくり協議会のキャラクターを小学生から応募して、ななおくんに決定したので、周知と、子供から愛されるようにステッカーを貼り、日々パトロール活動をしています。

青パトでパトロールをしていると地元小学生が手を振ってくれるなど大人気です。

(3) 桑名地域生活安全協会等と連携した合同パトロールの実施

桑名地域生活安全協会等他のPTA、連合自治会、各種団体と連携し、不審者情報を共有し、年に6回くらい、それぞれの青パトに乗車して合同パトロールをしています。

桑名交通安全協会と協力して、街頭警戒をして子供たちの交通事故防止活動をしています。

(4) SNSによる配信活動

七和地区社会福祉協議会のホームページとグループLINEを使い、パトロール活動やイベント開催時に掲載しています。SNS上で防犯活動について掲載することで、地元の方に「見える化」を図り、情報共有をしています。

青パト参加者は、かんたん出欠確認の調整さんを使い、都合のいい日に参加してもらいます。

4 活動頻度

- (1) 防犯パトロール：週3回（月水金）。構成員30名。
- (2) 生活安全協会との合同パトロール：年12回
- (3) 登下校時に見守り隊の方達が、付き添っていただいている。構成員17名。

5 課題

- (1) 青パトでのパトロール頻度を多くしたいのですが、登録されている方が高齢者でも、仕事をされていてなかなかご参加いただけない。
- (2) 今は七和地区社会福祉協議会から10,000円と、桑名市防犯活動助成金38,000円いただき、なんとかガソリン代を貯っていますが、回数を増やして行くと燃料代が必要になります。

6 課題の解決に向けた取組方策

- (1) 新しいメンバーの参加促進と育成
新しいメンバー獲得のため、住民や知り合いに対する個別にお説明する。
- (2) 活動資金の不足
市の補助金や赤い羽根共同募金分配金の一部の申請を活用しています。
桑名市役所の自主防犯団体への補助金制度と、地区社協の赤い羽根共同募金分配金の一部を利用し、燃料費等のランニングコストを捻出しています。